

「長崎で教会音楽を」実施報告書

2016年2月17日(水)～19日(金)の3日間にわたり、「長崎で教会音楽を」を開催しましたので、以下のとおり報告します。

開催趣旨

教会音楽で大きな役割を担うオルガンは、時代や地域により大きな発展をしてきました。ここ長崎の地は、キリスト教の歴史が刻まれた“まち”であり、オルガンが似合う“まち”です。オルガンを深く学び世界を翔る人材の育成を目的として、この長崎の地でオルガンの講習会を開催することになりました。

オルガン講習会受講生募集

別紙、募集要項により「日本オルガン協会」会報誌に同封し、開催周知を図りました。また、椎名先生をはじめとする実行委員会会員を通じて情報発信しました。

募集状況

応募者数：A部門= 15人 B部門= 19人 合計= 34人
 受講者数：A部門= 14人 B部門= 14人 合計= 28人

講習会プログラム

2月17日(水)	A部門	2月17日(水)	B部門
12:00～12:30 受付	活水女子大学 東山手キャンパスチャペル前	12:00～12:30 受付	活水女子大学 東山手キャンパスチャペル前
12:30～13:00 オリエンテーション		12:30～13:00 オリエンテーション	
13:00～17:10 実技Ⅰ	辻オルガン(活水531教室)	12:30～13:00 実技Ⅰ	ボッシュ・オルガン(活水チャペル)
17:10～17:30 (休憩)		17:10～17:30 (休憩)	
17:30～20:40 実技Ⅱ	辻オルガン(活水531教室)	17:30～20:00 実技Ⅱ	ボッシュ・オルガン(活水チャペル)
2月18日(木)	A部門	2月18日(木)	B部門
9:00～12:00 実技Ⅲ	マンダー・オルガン(浦上天主堂)	9:00～12:00 実技Ⅲ	辻オルガン(活水531教室)
12:00～13:00 (休憩・昼食)		12:00～13:00 (休憩・昼食)	
13:10～17:50 リハーサル	各20分 ボッシュ・オルガン(活水チャペル)	13:00～17:00 実技Ⅳ	マンダー・オルガン(浦上天主堂)
17:00～18:00 (休憩・練習)		17:00～18:00 (休憩・移動)	
18:00～20:30 オーディション	ボッシュ・オルガン(活水チャペル)	18:00～20:30 A部門オーディション	(聴講可)
2月19日(金)	A部門	2月19日(金)	B部門
9:00～12:00 実技Ⅳ	マンダー・オルガン(浦上天主堂)	9:00～12:00 実技Ⅴ	辻オルガン(活水531教室)
12:00～13:00 (休憩・昼食)		12:00～13:00 (休憩・昼食)	
13:00～14:30 実技Ⅴ	マンダー・オルガン(浦上天主堂)	13:00～15:00 実技Ⅵ	辻オルガン(活水531教室)
14:40～15:30 リハーサル	オーディション優秀者リハーサル	15:00～16:00 (休憩・移動)	
16:00～18:00 コンサート	浦上天主堂 (受付で受講生の名札提示)	16:00～18:00 コンサート	浦上天主堂 (受付で受講生の名札提示)
19:00～21:00 パーティー		19:00～21:00 パーティー	

受賞者

最優秀賞:木村 理佐
優 秀 賞:内海 彩花
審査員賞:阿部 翠・中澤 未帆

講師コメント

ティモ・ヤンセン（ドイツ・ノルデン聖ルートゲル教会オルガニスト）

全体として A 部門の受講生のレベルが非常に高かった。賞を決定することは、優秀な参加者が多かったため困難を極めた。審査員賞を新たに創設することにより、参加者のこれまでの努力に賞を挙げることとなったことはとても喜ばしい。最優秀賞の木村理佐さんには、ノルデンの教会のランチタイムコンサートに出演していただくが、それ以外の受講生もコンサートでぜひ弾いてもらいたいと感じた。

キム・ジソン（ソウル神学大学教授）

A 部門、B 部門とも、受講生がとても熱心に勉強しており、全体的にとっても有意義な講習会となった。特に B 部門の受講生は教会オルガニストが多かったが、教会での奉仕のほか、さまざまなオルガンに興味をもち、勉強している姿勢はとても素晴らしかった。次回は韓国からの学生も参加させたい。日韓の学生相互の刺激となるのではないだろうか。

椎名 雄一郎（活水学院オルガニスト）

予想を超える応募者があり、ヤンセン先生、金先生には無理をお願いして、長時間のレッスンを行っていただいた。お二人とも受講生の評判がとてもよく、丁寧にみていただいたとの受講生の感想が届いている。今後の課題はオルガンの練習時間の確保と、どのように A 部門、B 部門それぞれを区分けするかである。今回は年齢に拠ったが、30 歳以上で学部学生もおり、今後の課題である。

終わりに

「長崎で教会音楽を」は、長崎とキリスト教との係わりの中で、長崎が有する有形・無形の資産を活用した、他の“まち”ではできない長崎ならではの地域活性化に向けた取り組みとして、《長崎から世界へ、世界から長崎へ》をコンセプトに開催しました。

開催にあたって実行委員会組織を立ち上げましたが、委員の皆様はそれぞれに仕事を持ち多忙を極め全員が揃うことはなく、また実行委員会の開催も十分ではありませんでした。そうした中、活水学院オルガニストの椎名雄一郎氏（実行委員会の委員）に中心的な活動をしていただき、「長崎で教会音楽を」の第 1 回を開催することができました。

開催にあたっては、十分な準備ができないまま“運営は、”“会場の確保は、”“開催費は、”等々不安材料満載でのスタートとなりましたが、A 部門 14 人、B 部門 14 人の合計 28 人も参加があり、参加者の皆様に喜んでいただくことができ、お蔭をもちまして無事終了しました。

講師コメントにありますように、受講生のレベルは高く、参加者の多くの方々が次回開催を切望されており、今回の反省点を十分に踏まえ、さらなるレベルアップが図れるよう次回開催に向けて取り組んでまいりたいと思っております。

最後に、関係者の皆様の協力とご支援に感謝申し上げますとともに、名義後援を賜りました各位へお礼申し上げます。

2016 年 3 月

「長崎で教会音楽を」実行員会事務局

